香川県観音寺市観光ガイドブック

SA-JA

［サージャ］

フリーな心。スローな時間。

WE ♥ KAN-ONJI

香川県観音寺市観光ガイドブック

SA-JA

［サージャ］

新発見、再発見、観音寺の元気に触れる。

WE ♥ KAN-ONJI

WE ♥ KAN-ONJI

いま、観音寺市ではたくさんの「発見」に出会えます。

巨匠のアートに出会える新名所に街中の隠れスポット。
エプロン姿のガイドさんたちが教えてくれる観音寺の味巡り。
人に出会い、新しい観音寺の風を感じれば、
知っていたはずの景色や名所の、
これまでとは違った魅力に気づくはず。
さぁ、あなたの知らないまちを散策してみませんか？

SA-JA INDEX

新しい出会いと懐かしい
触れあいのある場所へ。

KAN-ONJI × ART ～観音寺で魅せられる。

KAN-ONJI × PLAY ～観音寺で遊ぶ。

KAN-ONJI × SPECIALITY ～観音寺を味わう。

KAN-ONJI × MATSURI ～観音寺でハジける。

特 集

まち歩き・公共交通機関

観音寺市観光エリアマップ

観音寺市への交通アクセス・年間イベントのご紹介

KAN-ONJI × HISTORY ～観音寺を知る。

KAN-ONJI × CULTURE ～観音寺に触れる。

KAN-ONJI × RELAX ～観音寺に癒される。

KAN-ONJI × VIEW ～観音寺を眺める。

[発刊・編集]観音寺市 経済部 商工観光課
〒768-8601 香川県観音寺市坂本町一丁目1番1号 Tel.0875-23-3933
観音寺市観光ガイドブック「SA-JA」2012年3月発行

本誌記載の記事、写真等の無断複写、複製、転写を禁じます。

SA-JAとは…「ちょーさじゃ」「よいよいさーじゃ」など、観音寺市の祭りに欠かせないかけ声に因んでいます。

SA-JA WE ♥ KAN-ONJI

ヨーロッパの古城を思わせる 「豊稔池堰堤」B-4

豊稔池堰堤は、マルチプルアーチダムで昭和4年に完成しました。
以来、80年以上の歳月を経て、現在の中世ヨーロッパの古城を思わせる
風貌へ。堤下の豊稔池遊水公園では、四季の草木に囲まれて、
ゆったりとした時間を過ごしていただけます。

一夜で描かれた観音寺市のシンボル 「銭形砂絵」A-1

有明浜の白砂に描かれた「寛永通宝」は、東西122m南北90m周囲345mもある巨大な砂絵。これは、1633年に藩主、生駒高俊公を迎えるために一夜にして作られたといわれています。琴弾山山頂から見るときれいな円に見えるように、実は楕円形に描かれています。

KAN-ONJI × ART

KAN-ONJIにちりばめられたアートの数々。
巨匠による芸術もあれば、自然がつくり出す芸術もある。

すばらしいアート作品は、見る人のココロに何かを語りかけてくれます。
市内に点在するアートは、作品として誕生したものもあれば、必然性から生まれたものもあります。
これらの作品との触れ合いを楽しんでみませんか。

イサム・ノグチと遊べる公園 「一の宮公園」A-3

香川県に縁のある世界的アーティスト「イサム・ノグチ」。一の宮公園には、彼が設計した遊具がエリアごとに分かれて設置されています。アート作品として鑑賞するもよし、遊具として遊ぶもよし。イサム・ノグチの世界を体感してみてはいかがでしょう。

SA-JA WE ♥ KAN-ONJI

柳町通り・にぎわい広場「きんたろう」B-2

彫刻家 和泉正敏氏が"新・観音寺市のシンボルに"と制作した作品。
芸術を鑑賞しながら一息つける憩いの空間です。

1

3

2

4

柳町通りのシンボル

「自然への回帰・春夏秋冬」B-2

柳町通りの歩道に配置されている4つの石彫は、「自然への回帰」をコンセプトに、四季を象徴的に表現した作品。

1「春（やなぎ）」　3「秋（月）」
2「夏（太陽）」　4「冬（凛々）」

読書しながら、アートを鑑賞

「中央図書館」B-2

一般図書9万5千冊、児童書3万2千冊の蔵書がある中央図書館は、モダンな外観が印象的。中庭に並べられた石彫が、読書で疲れた目をやさしく癒してくれます。

KAN-ONJI × ART

石に刻まれた彫刻家の想いを感じられる、
"とっておきのまち＝KAN-ONJI"。

観音寺市には、香川県出身の彫刻家「和泉正敏氏」の作品が多数設置されています。
故イサム・ノグチのかつての制作パートナーであり、世界を舞台に活躍するアーティストとして和泉氏は語ります。
「石は思い出をはこび 今日の勇気を与えてくれる 石に語り 石が語る
空を仰ぎ 明日に向かい 時を刻む 空間に秩序が生まれる」と。

別れの時を見届ける石彫「燧望苑」C-3

燧灘を望む高台にある葬祭場「燧望苑」。敷地内に置かれた石彫は、故人を偲ぶかのように静かに佇んでいます。

アートのある公民館「一ノ谷総合コミュニティセンター」C-2

近代的な外観の建物とアート作品を楽しむことができる「一ノ谷総合コミュニティセンター」。

雪道を運転しなくても行けるスキー場

「スノーパーク雲辺寺」C-4

県内唯一のスキー場「スノーパーク雲辺寺」は、標高約920mにあり、ゲレンデからは三豊平野をはじめ、島々をバックに瀬戸内海が望めます。ゲレンデは2本のコースと、ちびっ子ゲレンデが設けられていて、大人から子どもまで楽しめます。また、スキー場へはロープウェイを利用してアクセスできます。雪道を運転することなくスキー場にたどり着けるので、雪道走行が不慣れな方でも安心です。

KAN-ONJI × PLAY

KAN-ONJIには、自然を感じ、自然と遊べるプレイスポットがいっぱい。
さあ、家から抜けだし、時を忘れてKAN-ONJIを遊び尽くそう。

スキーやスノーボードなどのウィンタースポーツをはじめ、
観音寺市の町並みや燧灘の絶景が一望できるパラグライダー。
さらに、野球やサッカーに夢中になれる多目的グラウンドや室内型のテニスコートなどなど。
子どもから大人まで、誰でも楽しめるスポーツ・レジャー施設がたくさんあります。

自然とふれあい、風と遊ぶ

「ウィンドパーク雲辺寺」C-4

雲辺寺山山頂から、パラグライダーで讃岐の絶景が楽しめます。初心者には、ゆるやかな斜面を使って浮遊感覚が味わえる体験コースもご用意。

スポーツでリフレッシュ!

豊浜総合体育館「すぽっシュ TOYOHAMA」A-3

会員だけでなく、一般の方でも気軽にプールやマシンジムをはじめ、露天風呂やサウナなどがご利用できます。思いっきり運動した後は、お風呂でのんびりリラックス。心身ともにリフレッシュできるスポーツ施設です。

SA-JA WE ♥ KAN-ONJI

スポーツとレジャーを一緒に楽しむ

「萩の丘公園」B-3

全天候型のインドアテニス場をはじめ、広大な多目的広場ではサッカーや野球、ソフトボールなどのスポーツが楽しめます。また、小さなお子さまでも楽しめるグラススキー場や、夏期シーズンには幼児プールもオープン。

スポーツを本格的に楽しめる公園

「観音寺市総合運動公園」B-2

西讃エリアでは最大規模の総合運動公園です。本格的な陸上競技場のほか、テニスコートを6面、また1,260人収容の野球場。さらに、トリムコースや遊園地（かいじゅうの丘）が併設されています。

松林がやさしく見守る「琴弾公園」A-2

すべり台やブランコなど、子どもたちがノビノビと遊べる自然に優しい木製遊具がいっぱい。時間を忘れて元気に遊ぶ子どもたちを樹齢100年を越える巨大な松たちがやさしく見守ってくれます。

南国気分を満喫「一の宮公園 芝生広場」A-3

青い海と一面の芝、そしてヤシの木が悠々と茂る芝生広場は、まるで南国を思わせるような景観です。休日には、さまざまな催しが開催されるほか、夏場には海水浴客で賑わいます。

讃岐うどんの必需品「伊吹いりこ」

讃岐うどんのダシに欠かせない「いりこ」。伊吹島には島を取り囲むようにいりこの加工場があり、漁場から高速運搬船で加工場へ直送されます。それが品質の高い「いりこ」の秘訣なのだとか。

KAN-ONJI × SPECIALITY

観音寺市ならではの名物や特産品の数々。
食卓にさりげなく並んでいるものも、実はMade in KAN-ONJIかも。

名物・特産品である、「海の幸」、「山の幸」、「里の幸」どれもが、育てた人や獲った人、
作った人の想いが詰まった「人の幸」。お越しの際は、ぜひ観音寺の「人の幸」をお求めください。

懐かしいけど新しい、伝統の「菓子・甘味」

お土産としても人気の高い「えびせんべい」や「おまんじゅう」。また、ほのかなニッキ味のお餅「梅が枝」。カラフルな彩りとサクッとした食感で、中・西讃地方の嫁入りには欠かせない「おいり」など、時代を超えて愛される「名物」があります。

KAN-ONJIの美味いのカタチ「果物・野菜」

シャキシャキ感とほのかな甘みで全国的にも知られる「レタス」をはじめ、ビタミンやミネラルが豊富で健康野菜として注目を集める「セルリー」などのフレッシュな野菜。また、柔らかくジューシーな果肉のいちご「さぬきひめ」や、香川県の特産果樹である「梨」など、新鮮で美味しい野菜や果物が、県内はもちろん、県外の食卓に届けられています。

SA-JA WE ♥ KAN-ONJI

道の駅「ことひき」A-2

観音寺のお土産や特産品のお求めは、道の駅でどうぞ。

KAN-ONJIの風土が生んだ「醸造品・加工食品」

瀬戸内で採れる新鮮な小魚を原料にした「かまぼこ」や「てんぷら」。観音寺で採れたキノコだけを使用して作られる「佃煮」。穏やかな気候と清らかな水、実り豊かな穀物が調和して作られる「清酒」や「味噌」、「麹」などの醸造品。どれも観音寺の風土が生んだ逸品ばかりです。

KAN-ONJI × MATSURI

豊穣と豊漁を祈願する祭り。豪華絢爛な「ちょうさ」は祭りの華であり、
KAN-ONJIの人々の魂でもある。

キンモクセイの甘い香りが漂う10月。
腹の底まで響き渡る太鼓の音と、勇壮なかけ声とともに「ちょうさ」が市内各地でご覧いただけます。

ちょうさ会館 A-3

実物の「ちょうさ」と300インチの巨大スクリーンによる迫力の映像で、ちょうさ祭りの熱気を一年中体感できます。ちょうさ祭りの歴史やルーツ、組み立て方なども紹介されており、お祭り好きなら何度でも訪れたくなる施設です。
■開館時間：午前9時30分～午後5時まで
（入場受付は午後4時30分まで）
■休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

KAN-ONJI × MATSURI

SA-JA WE ♥ KAN-ONJI

江戸時代末期にはすでに奉納されていたと伝えられる「ちょうさ」。市内には120台近くもの「ちょうさ」があり、それぞれに個性と地域の誇りがある。

七重、とんぼ、布団締め、幕、掛け布団など、200点あまりの部品からなる「ちょうさ」。
一見、同じように見える「ちょうさ」にもそれぞれ違いがあり、同じ「ちょうさ」は1台としてありません。

1 伊吹島エリア

伊吹島には、3台の「ちょうさ」（西部、東部、南部）があります。その歴史は古く、1800年頃にはすでに「ちょうさ」が奉納されていたと思われます。

2 観音寺エリア

「観音寺型」の「ちょうさ」の特徴は、「網のかかったとんぼ」と前後左右に掛けられた「4枚の掛け布団」。年間を通して総合コミュニティセンターに展示。

3 豊浜エリア

豊浜エリアの「ちょうさ」は、「赤いとんぼ」と「夜を彩るちょうちん」が特徴。豊浜町内20数台のちょうさが一堂に会して運行される「さぬき豊浜ちょうさ祭」は必見。

4 大野原エリア

「白いとんぼ」と「前後2枚の掛け布団」が特徴的な大野原エリアの「ちょうさ」。大野原町内では、「ちょうさ」とともに「だんじり」の奉納もご覧いただけます。

1

2

3

4

WALKING

足の向くまま、気の向くままに観音寺の街をぶらっと散策。
あなたの知らない新しい観音寺が発見できるかも。

夜の三架橋

「おいり」のサクサクとした食感とカラフルでかわいい形がなんともいえず癖になりそう。

小林一茶も訪れた専念寺は、凛とした空気が漂っていて、身が引き締まります。

にぎわい広場「きんたろう」

人形店のショーケースに飾られた緻密にできた人形は必見です。

はじめて食べる、できたての天ぷらにびっくり。お土産を買ったのは言うまでもありません。

1 おいり屋

中・西讃地方では嫁入り道具のひとつといわれる「おいり」。最近ではかわいいパッケージに入ったものを、日頃のおやつとして購入される方も多いのだとか。

2 人形通り

七福通りの路地を入ると人形屋の看板が目に入ります。趣のある町並みからは、懐かしさのなかに新しさを感じます。

3 専念寺

「元日や さらに旅宿と 思ほえず」。この句は江戸の俳人「小林一茶」が専念寺で詠んだもの。この句碑は、一茶直筆の句を拡大模写し、境内に建立したものです。

4 蒲鉾店

観音寺市は県下有数のかまぼこの生産地で、市内にはかまぼこ屋さんがいっぱい。できたてを食べられるお店もあります。お土産にもどうぞ。

観音寺の街を散策しよう!

まち歩き

PUBLIC TRANSPORTATION

公共交通機関

海へ、山へ、島へ、街へ。
観音寺市をとことん楽しむなら、
公共交通機関を有効にご活用ください。
スムーズに快適に、あなたの行きたい目的地へ。

エリア散策に最適です!ご利用ください!

レンタサイクル

JR観音寺駅近くの「大正橋プラザ」観光案内所では、約30台のレンタサイクルが用意されています。
利用料:1日100円 定休:毎週木曜日

市営 のりあいバス

市内の5つのルートを運行するのりあいバス。
運賃:1回100円　運休:毎週日曜日

JR

市内にはJR観音寺駅(特急列車停車)と豊浜駅・箕浦駅(普通列車のみ停車)があります。各駅からは、のりあいバスが利用できます。

海上タクシー

観音寺港と伊吹島を約15分で結ぶ海上タクシー。伊吹島や周辺の島を周遊することもできます。
■お問い合わせ:伊吹島海上タクシー TEL:0875-29-2175

市営 伊吹航路

観音寺港と伊吹島をつなぐ海の便は1日往復4便。

《時刻表》■運賃:500円 ■所要時間:25分

伊吹発	7:00	9:00	13:30	17:10
観音寺発	7:50	11:20	15:40	17:50

案内所

大正橋プラザ(観光案内所)

●施設／観光案内所、自転車駐輪場、トイレ、多目的スペース
●営業時間／午前9時～午後5時
●休館日／毎週木曜日（祝日の場合は翌日）
●連絡先／TEL:0875-25-3839
B-2

道の駅「ことひき」

●施設／駐車場、トイレ、総合コミュニティーセンター、世界のコイン館、観音寺郷土資料館、琴弾公園
●営業時間／午前９時～午後５時（駐車場・トイレ・電話は24時間）
●休館日／毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
●連絡先／ TEL・FAX:0875-23-0055
A-2

道の駅「とよはま」

●施設／駐車場、トイレ、売店、情報コーナー、緑地広場
●営業時間／平日:午前８時～午後５時　土日:午前８時～午後６時
●休館日／売店:年中無休
●連絡先／ TEL:0875-56-3655
A-4

AREA MAP

観音寺市観光エリアマップ

観音寺市といえば「銭形砂絵」が思い浮かぶ方も多いはず。
砂絵のある琴弾公園周辺には、数々の名所や名跡があります。
また、豊浜エリアの海、大野原エリアの山を含め、
市全域に見ごたえたっぷりのスポットが広がっています。

根上がり松

観音寺松原

有明浜海水浴場

琴弾公園周辺案内略図（ことひき）

水琴窟

一夜庵

観音寺市郷土資料館

世界のコイン館

新琴弾橋

琴柱池

ACCESS

観音寺市への交通アクセス

瀬戸の島々を眺めながら車で来ても、
電車、高速バス、飛行機などの公共の
交通機関を使っても、
観音寺市へのアクセスは便利で快適。

しまなみ海道

瀬戸大橋

大鳴門橋

明石大橋

JR

東京・名古屋・京都・新大阪・新神戸
博多・小倉・広島
→（新幹線のぞみ号）→ 岡山駅
→（特急（約1時間））→ 多度津駅
→（快速）→ JR観音寺駅
（岡山駅 →（新幹線のぞみ号）→ 多度津駅：特急）

車

倉敷JCT
垂水JCT
尾道JCT
→（瀬戸大橋経由／明石大橋経由）→ 坂出JCT
→（高松道）→ さぬき豊中IC
（しまなみ海道経由）→ いよ小松JCT
→（松山道）→ 大野原IC

高速バス

大阪（大阪駅・なんば駅）
神戸（新神戸駅・三宮BT）
東京（東京駅・新宿駅）
→ JR観音寺駅

飛行機

東京
→（飛行機）→ 高松空港
→（リムジンバス）→ JR高松駅
→（特急・快速／普通）→ JR観音寺駅／JR豊浜駅

INFORMATION

年間イベントのご紹介

観音寺市でしか参加できない様々なイベントを開催。
家族や友達とご一緒に思い出づくりにお越しください。

銭形まつり

萩まつり

1月最終日曜日
観音寺銭形たこあげ大会

3月上旬
一夜庵俳句大会

4月第2土曜日・日曜日
高屋神社大祭（春祭）

4月29日
春季銭形砂ざらえ、若葉茶会
全国奉納絵馬コンクール

豊浜駅つつじ祭り

5月上旬
豊浜駅つつじ祭り

6月中旬
粟井あじさい祭り

粟井あじさい祭り

7月中旬
銭形まつり

7月下旬～8月
一の宮サマーフェス
サマーフェスティバルin大野原

9月中旬～23日
萩まつり

9月下旬～10月下旬
市内各地の秋季大祭（ちょうさ祭り）

10月下旬
秋季銭形砂ざらえ

法泉寺もみじ祭り

11月下旬
法泉寺もみじ祭り

観音寺市の海辺の植物

観音寺の海辺では、春から秋にかけて様々な海浜植物が可憐な花を咲かせます。

ハマボウフウ（5月頃）
小さくてかわいい白い花が集まって咲きます。

ハマヒルガオ（5～6月頃）
初夏にピンク色の鮮やかな花をアサガオのように咲かせます。

ウンラン（8～9月頃）
県下では有明浜でのみ自生を確認。蘭に似た仮面上の花をつけます。

スナビキソウ（4～6月頃）
海岸線近くに群生しており、白い花を咲かせます。

KAN-ONJI × HISTORY

先人たちが生きた時の中に身をおいて
彼らの想いや眼差しに心をよせる。

春の訪れとともに、どこからともなく鈴の音が聞こえてきます。市内には四国霊場で唯一の二寺二霊場である第68番・69番札所七宝山観音寺神恵院、霊場中最も高所にあり〝四国高野〟ともいわれる第66番札所巨鼇山千手院雲辺寺があります。最近では白装束に身を包んだ若い女性のお遍路さんの姿も。お接待の心で育まれたこの地には、パワースポットと呼ばれる名所も多数存在し、どこか神秘的で訪れる人を温かく迎えてくれます。

人々が海から引き上げお祀りした宇佐八幡宮の神様は〝この地のあまりの美しさに去るにはしのびがたし〟と言ったそうです。また、俳諧の祖山崎宗鑑が一夜庵を築きここを終焉の地に選んだのも、訪れる人を受け入れるこの土地の大らかさや温かさゆえかもしれません。

奏でる琴の調べが由来となった「琴弾八幡宮」A-2

703年、琴弾山で修行をしていた日証上人は八幡大菩薩の乗った船が漂着したのを発見し、里の人たちとともに船を琴弾山頂に運び、祀ったのが琴弾八幡宮の始まりと伝えられています。その船の中から琴の音色がしていたことから「琴弾」の名がついたといわれています。

知る人ぞ知るパワースポット「生木地蔵尊」B-3

樹齢約1200年と推定されるクスの中に彫られた「お地蔵さま」。父親が病弱な娘のために彫り上げたといわれています。

俳句の聖地「一夜庵」B-1

俳諧の祖「山崎宗鑑」が建立した日本最古の俳跡です。「一夜庵」の名は、宗鑑が来客の一夜以上の滞在を許さなかったことに由来しています。

大平正芳記念館 B-2

香川県選出の国会議員として唯一、内閣総理大臣を務めた観音寺市出身の政治家「大平正芳」は、観音寺市をこよなく愛したといわれています。市内には四国霊場68・69番札所があり、また、大平先生は第68・69代の内閣総理大臣に就任されました。これも地元を愛するが故の縁だったのかもしれません。

■開館：午前10時～午後5時　■入館料：無料
■休館：毎週月曜日（祝日の翌日）、年末年始

「神恵院」と「観音寺」は、四国霊場で唯一の「一寺二霊場」。

第68番札所 神恵院（右）B-2

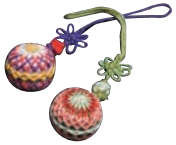
703年、琴弾八幡宮の創建の際、本地仏として阿弥陀如来を祀ったことにはじまります。本堂はコンクリートづくりのモダンな雰囲気です。

第69番札所 観音寺（左）B-2

弘法大師 空海が住職を勤めたといわれる「観音寺」。寄棟造りの金堂は、室町時代に建築されたもので、重要文化財に指定されています。

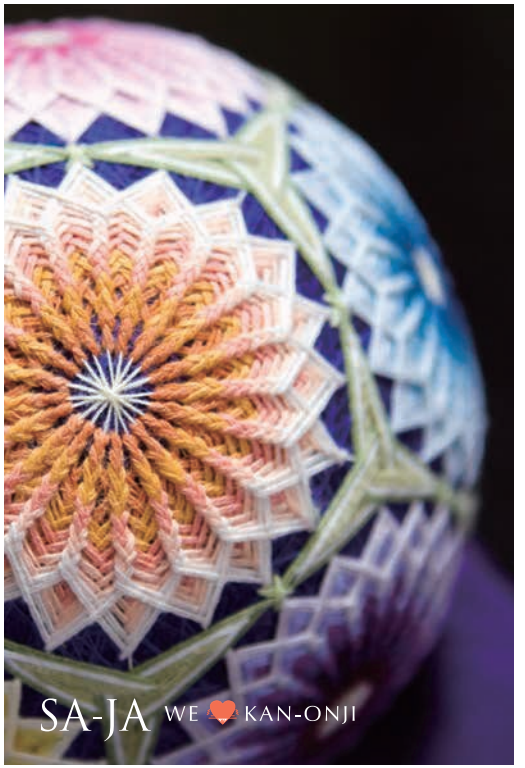
KAN-ONJI × CULTURE

KAN-ONJIの特産品である「わた（綿）」。
そこから生まれた伝統工芸が
人の手から手へと今も受け継がれています。



観音寺で受け継がれてきた伝統工芸
「讃岐かがり手まり」

清少納言の枕草子にも登場するまり遊び。まりは中国から伝来し、貴族の間で広まり、後に一般へ普及したといわれています。観音寺におけるまりは、草木染による木綿糸を一本一本、針でかがりながら、二十余りの模様を描き出す独特の技法が特徴だといわれています。観音寺地域で伝統的に手まりづくりが受け継がれてきた背景には、綿の優れた産地であることも一因でしょう。



市内在住の手まり作家 森靖子さん。かがり手まりの魅力は、一つとして同じものがなく、作るたびに新しい発見があることだといいます。また、香川県伝統工芸士として、作品展に出展されるほか、市内のコミュニティセンターで後進の指導も行なっています。

現代によみがえった讃岐三白「わた」

江戸中期から明治初期にかけて、西讃エリアで盛んだった「綿づくり」。中でも豊浜地区は、綿の町と呼ばれた一大産地でした。収穫された綿は、手で紡がれ糸になり、手織されて反物となり全国に流通していました。現在では減少してしまいましたが、地元の有志の方々の手で、古き良き綿づくりが守られ、受け継がれています。

「種から綿へ。綿から糸へ。糸から布へ」をキーワードに、豊浜の綿の生活文化を伝承しようと活動を始めた「NPOコットン」。工房では、棉栽培から、紡績、はた織りまでの行程を体験することができます。代表を務める西原理事長は、「手紡ぎ・手織りは手のかかる大変な作業。でも自分で育てた綿が、反物として出来あがった時は感無量ですね」と話します。

代々伝わる職人の技とこだわり「節句人形」

子供たちの安らかな成長を願う節句行事。三月のひな節句、五月の端午の節句のほか、中・西讃地方には、旧暦の八月一日に馬節句を行う風習があります。市内から入った路地は「人形通り」と呼ばれ、江戸期より祝事に欠かせない節句人形を作る職人たちが軒を連ねていました。その技術は現在も脈々と受け継がれています。

「眺める角度によって微笑んでいるように見える表情と、実際の着物の生地を使っているのがうちの雛人形の特徴」と話す「ギャラリーオオハタ」の大畑さん。県内はもちろん、関西から人形を買い求めにくるお客さまもいるそうで、「探していた人形にやっと出会えた」と言っていただけることが何より嬉しいといいます。お土産用の人形も数多く取り揃えられているので、ぜひご来店を。

祭りが育んだ伝統工芸「金糸・銀糸刺繍」

観音寺市の祭りを彩る豪華絢爛な「ちょうさ」。金糸・銀糸をふんだんに使った装飾刺繍は、見る者すべてを魅了します。龍や虎、獅子をはじめ、各地の社殿や伝説をモチーフに一つひとつ手作業で仕上げられる刺繍はまさに匠の技。市内には、太鼓台の刺繍を専門とする縫箔師だけでなく、自ら刺繍を施す自治会もあります。

豊浜町に刺繍工房を構える「太鼓台刺繍こやま」の小山幸雄さん。小さい頃から、ちょうさが好きで縫箔師の道へ進んだといいます。ちょうさ1台分の刺繍を創り上げるには3〜4年もかかるそう。「地域や自治会によって好みも違うので、それをカタチにするのが大変です。しかし、納品した時のみなさんの驚きや笑顔に出会えるのが、この仕事の醍醐味」といいます。

KAN-ONJI × RELAX

まったりと、のんびりと癒される時間。
KAN-ONJIで、ココロとカラダにご褒美を。

健康志向の湯「萩の湯」B-3

漢方を独自にブレンドした薬湯をはじめ、塩サウナ、遠赤外線サウナ、電気風呂、水風呂、ジェット湯など、さまざまなお風呂が楽しめます。中でも、レインボージャグジーの露天風呂がおすすめです。

アウトドア派におすすめ
「豊浜コミュニティセンター（海の家）」A-3

目の前に一の宮海岸があり、遠浅の海辺は海水浴客で賑わいます。宿泊設備はもちろん、近くにはテニスコートやキャンプ場もあり、自然のなかで、のんびりと過ごしたいアウトドア派にぴったり。

湖畔に佇むログハウス
「萩の丘公園 キャンプ場」B-3

大谷池の湖畔に建つ北欧スタイルのログハウスは全6棟。すべて湖面に向いて建てられているので見晴らし抜群。時間を忘れてゆったりと過ごせるキャンプ場です。

KAN-ONJI × VIEW

街を離れて、ちょっと一息つきたくなった。
そんな時には、KAN-ONJIへおいで。

恋人の聖地「一の宮公園」A-3

海岸線に並ぶやしの木と緑の芝生が広がるリゾート感いっぱいの一の宮公園。芝生広場の中央には、宇宙に向けて飛び立つロケットをイメージした時計塔「一の宮ドリームタワー」が。このタワーの鐘を2人で鳴らすと、いつまでも幸せになれるといわれています。

時には、浜辺へ続く松のトンネルを、大切な人とのんびり歩く。
時には、夕やけに染まる海岸で一人、もの思いにふけってみる。
時には、月の灯りだけを頼りに、愛犬と砂浜を散策してみる。
遠くから聴こえる波の調べと、かすかに漂う潮の香り。目を閉じて大きく深く息を吸い込むと、一瞬で心と体がリセットされる。
そんな癒しのスポットにめぐり会えるのも、「観音寺」だからかもしれません。
週末のひと時を、たまには誰かと、たまには一人で、たまにはペットと過ごしてみませんか。
素敵な時間と大切な思い出を、きっとあなたに届けてくれるはずです。

石門

金田一春彦歌碑

古き良き日本に会える島
「伊吹島」A-1

有人の島としては香川県最西端にある「伊吹島」。いりこの島として知られるこの島は、武者が隠れ住んだといわれる洞窟や平安時代のアクセントが遺る歴史的にも、言語学的にも貴重な島。来島した人は、緩やかに流れる島時間と心癒される風景の数々に魅了され、また訪れたくなることでしょう。

観音寺松原

「観音寺松原」A-1

琴弾公園を覆うように茂る松の群れ。1本1本に個性があり、見飽きることがありません。

眺望もトレッキングも楽しめる

「魚見山森林公園」A-4

展望所からは、おだやかな燧灘に浮かぶ島々を見ることができます。
また、公園はトレッキングコースとして整備されているので、初心者の方やお子さんでも安心して楽しめます。

観音寺市を、南から北へ。

山頂から街を見守る大鳥居

「高屋神社」B-1

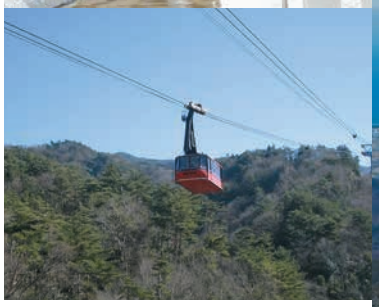
稲積山山頂にある高屋神社からは、有明浜や琴弾公園、雲辺寺山など、市内が一望でき、荘内半島や愛媛県四国中央市まで見渡すことができます。山頂へ続く登山道では、ウサギに出会えることもあるそう。

観音寺市を、北から南へ。

KAN-ONJI × VIEW

市街地から一歩踏み出ると、そこには自然豊かな絶景が広がります。

市北部にある稲積山は七宝山系と呼ばれ、弘法大師が中国から持ち帰った七つの宝を山に埋めたという伝説が残っています。山頂にある高屋神社は桜の名所で、市内で唯一、春に大祭が行われています。
市南東部には観音寺市と徳島県三好市にまたがる標高927mの雲辺寺山があり、山頂からは三豊平野の一大パノラマが広がります。冬には〝樹氷〟が見られ、樹をおおう氷の粒に光が差すとキラキラと輝いて、ため息が出るほどの美しさ。
市南部にある魚見山は、漁師たちが山の上から魚の群れを見て漁を行っていたことからその名が付けられました。のぞき込みたくなるほどの青い海が一望でき、晴れた日にはしまなみ海道まで見渡せることも。
心が洗われる絶景スポットへ、カメラを片手にぜひお越しください。



-10℃の世界へ、ようこそ

「雲辺寺山頂」C-4

ロープウェイで7分。四国霊場第66番札所「雲辺寺」がある山頂は、麓との平均気温差が約10度。夏は暑さを忘れさせてくれ、冬は一面の銀世界が広がります。遠くは瀬戸大橋まで見渡せます。

観音寺市を、東から西へ。

SA-JA WE ♥ KAN-ONJI

SA-JA INDEX

どこにもない、
ここだけの時間を感じにおいで。

KAN-ONJI × VIEW ～観音寺を眺める。

KAN-ONJI × RELAX ～観音寺に癒される。

KAN-ONJI × CULTURE ～観音寺に触れる。

KAN-ONJI × HISTORY ～観音寺を知る。

特 集

年間イベントのご紹介・観音寺市への交通アクセス

観音寺市観光エリアマップ

公共交通機関・まち歩き

KAN-ONJI × MATSURI ～観音寺でハジける。

KAN-ONJI × SPECIALITY ～観音寺を味わう。

KAN-ONJI × PLAY ～観音寺で遊ぶ。

KAN-ONJI × ART ～観音寺で魅せられる。

[発刊・編集]観音寺市 経済部 商工観光課
〒768-8601 香川県観音寺市坂本町一丁目1番1号 Tel.0875-23-3933
観音寺市観光ガイドブック「SA-JA」2012年3月発行

本誌記載の記事、写真等の無断複写、複製、転写を禁じます。

SA-JAとは…「ちょーさじゃ」「よいよいさーじゃ」など、観音寺市の祭りに欠かせないかけ声に因んでいます。